

MITSUBISHI

VGB-935H2	個別運転・集中管理システム運転兼用形
VGB-935H2-DN	集中管理システム運転専用形
VGB-935H2-PH	個別運転・集中管理システム運転兼用形 外表補強タイプ

三菱〈強制給排気式ガスストーブ〉クリーンヒーター

型式名

VGB-935H2 (個別運転・集中管理システム運転兼用形)

設置工事説明書

販売店・工事店さま用

- 据付工事をされる前にこの設置工事説明書を必ずお読みになり、正しく据付けてください。
- ここに示した注意事項は「ガス機器の設置基準及び実務指針」に基づいた安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、「据付工事の点検、確認」のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。

表示と図記号の意味は次のとおりになっています。



警告

作業を誤った場合に、据付工事作業者または使用者が死亡や重傷・火災などに結びつく可能性があるもの



禁止



注意を表わす



注意

作業を誤った場合に、据付工事作業者または使用者が傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



指示に従い必ず行う

【お願い】

正しく据付けていただくための情報です



参照ページを示す

もくじ

	ページ
安全のために必ずお守りください……火災、事故防止等安全について	2～5
安全のためのお願い	6
開梱	7
壁穴工事	付属部品及び使用箇所の確認
壁穴工事	壁穴工事と標準据付例
製品の据付け	標準給排気工事と延長給排気工事
電気・ガスの接続工事	電気接続・ガス接続
据付工事後の点検・確認	19
試運転	裏表紙

0507873HK2301

安全のために必ずお守りください

据付工事をされる方へ



警告

据付工事は、お買上げの販売店または工事店が実施してください。

- お客さま自身で据付工事をしないでください。
(ご自身で据付工事をされ、不備があると燃焼排ガス漏れ、感電、火災の原因になります)
工事に起因する不備があった場合は保証の対象外となります

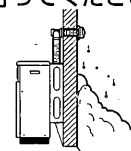
法律に基づいた正しい据付工事を行うために、設置工事説明書を良くお読みになり、指定された工事を行ってください。

- 設置工事説明書は法律の内容をわかりやすく解説した「ガス機器の設置基準及び実務指針」に基づいて作成されています。
- 据付工事部品は必ず付属部品、システム部材を使用してください。



給排気について

- 買い換えの場合も新しい給排気部品を使用して据付工事を行ってください。
(排気筒はずれ検知装置が誤作動したり、燃焼排ガスが漏れたりする原因になります)
- 積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪で埋もれない位置に取付けてください。
(爆発点火することがあります)



据付けする製品の確認

暖房能力が部屋の広さに適しているか、取扱説明書に記載の「暖房のめやす」により確認してください。



警告

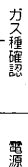
使用ガス・電源について

製品右側面に貼り付けてある銘板で確認する

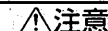
例

VGB-935H2	
都市ガス (12A, 13A用)	ガス消費量 12A 10.0kW
	13A 10.7kW
設置の方式	外壁用
定格電圧	AC 100V
定格消費電力	89W/98W
定格周波数	50Hz/60Hz
三菱電機株式会社	
この製品は 50Hz用 に調整してあります	
60Hz地区の場合は給気ホースのジョイントにHz切換ダンパーを挿入する必要があります。	

製造年月表示位置



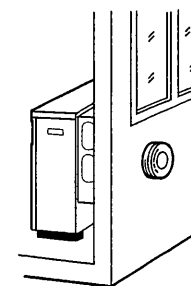
(ガス種や電源が間違っていると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発点火することがあります)



注意

この製品は屋内用です
屋外へ据付けることはできません

屋内



屋外



安全のために必ずお守りください

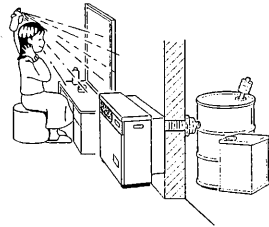
据付場所の確認

据付場所を決めるときはお客さまと良く相談してください。

火災予防

警告

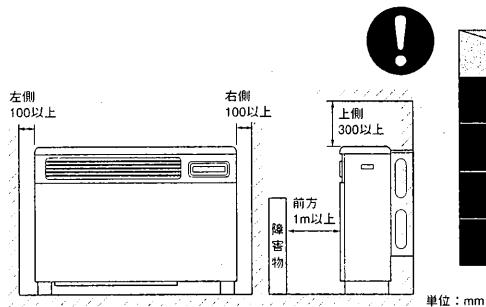
危険物があるところに据付けない
危険物(ガソリン・シンナー・灯油など引火しやすいもの)の近くには据付けない



(引火による火災の原因になります)

製品の周囲の可燃物・障害物との離隔寸法は下記の内容を考慮した寸法を確保してください。

- 火災予防と裏面の点検のために「ガス機器の設置基準及び実務指針」に定められた空間寸法。
- 据付工事、エアフィルター清掃、アフターサービスに必要な空間寸法。
- 壁のビニルクロスの変色防止、温風の短絡防止に必要な空間寸法。



	理由
上側	据付工事、アフターサービス
左側	ビニルクロスの変色防止
右側	アフターサービス
前方	温風の短絡防止

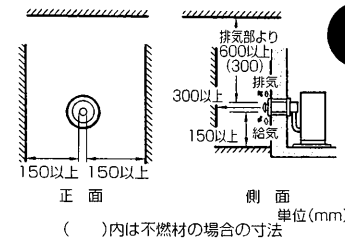
- 上側は取りはずし可能な棚などの場合は、防火上45mmまで近接が可能です。
 - 左側は変色等の心配のない壁面等であれば、防火上45mmまで近接が可能です。
 - 製品の裏面には必ず背面カバーを取付けてください。
 - 背面カバーと壁の間にはすき間をあげないでください。
(カーテンや紙などが入りますと、こげたり、においなどの原因となります)
 - ガス栓の開閉、電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください。
- ※離隔距離等の基準は各地方自治体により異なる場合があります。より厳しい自治体の基準がある場合はそれに従ってください。

火災予防 つづき

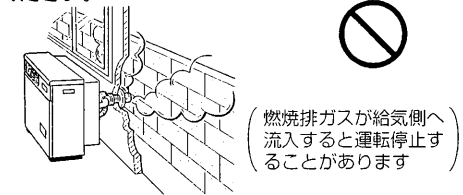
注意

給排気筒トップは、十分開放された空間で、燃焼排ガスの滞留しない空間に取付けてください。

下図の寸法は防火上の必要寸法です

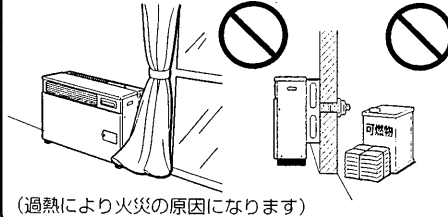


給排気筒トップの周辺には、建築物の突出物等の障害物のないことを基本とし、燃焼排ガスが障害物にあたって給気側に流入しない位置に取付けてください。



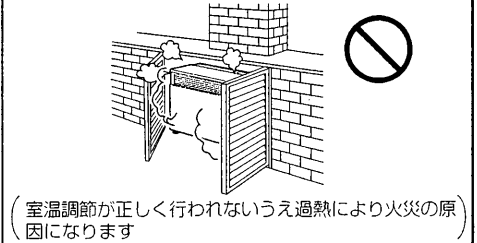
(燃焼排ガスが給気側へ流入すると運転停止することがあります)

カーテンなど可燃物と製品との離隔距離が確保できないところには据付けない



(過熱により火災の原因になります)

温風吹出口前方にギャリ(格子)を取付けない

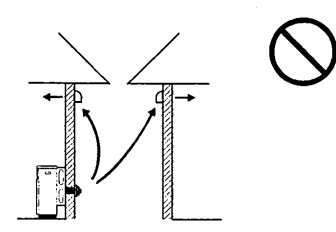


(室温調節が正しく行われないう過熱により火災の原因になります)

給排気について

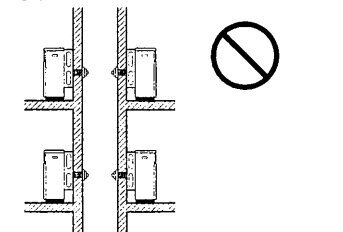
注意

燃焼排ガスが室内(隣家も含め)に入りやすいところには据付けない



(室内空気が汚染されます)

高層建築の集合煙突を利用した給排気工事は絶対行わない



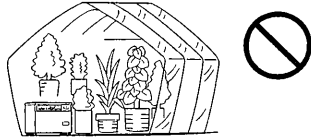
(運転停止したり、不完全燃焼の原因になります)

安全のためのお願い

据付場所の周囲について

△注意

他の目的に使用しない
食品・動植物・精密機器・美術品などの保存等
特殊な用途には使用しない



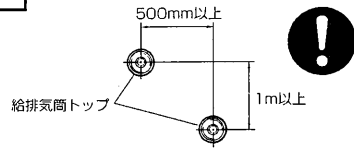
(美術品などの品質が低下する原因になります)

据付場所の雰囲気について

△注意

2台以上据付ける場合は各々の給排気壁穴の間隔は、水平方向に500mm以上、垂直方向に1m以上離すこと

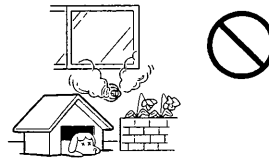
(燃烧排ガスの給気口への吸い込みによる運転停止や不完全燃烧の原因になります)



燃烧排ガスに注意

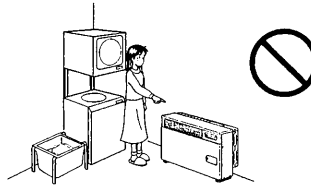
愛がん動物や植木などに燃烧排ガスをあてない

(動物が死んだり、植木が枯れる原因になります)



浴室など湿気の多いところに据付けない

(感電の原因になります)



据付場所の強度について

△警告

設置は質量に十分耐える所に確実に行うこと

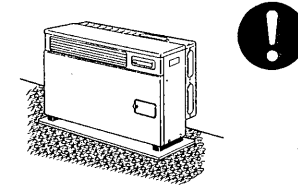
△注意

運転音や振動が他に伝わったり増大しないよう、強度が十分な場所に設置すること

据付け前のお願い

直射日光の当たる場所に据付けない

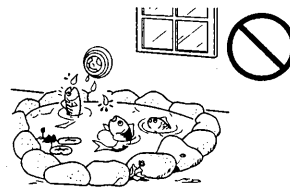
毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、安定のよい敷き板などを敷いて水平にする



(室温調節が正しく行われないことがあります)

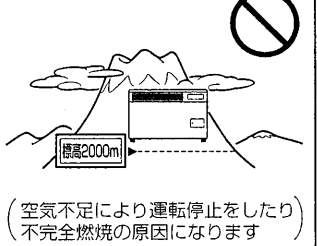
(製品が不安定になることがあります)

給排気筒トップの先端(排気口)からドレン(水滴)が池に落下したり腐食させる恐れがあるところには取付けない



特殊環境(温泉害、塩害、大気汚染、化学薬品を使用する場所)には据付けない

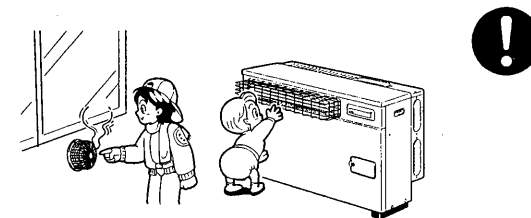
標高2000m以上の高地では据付けない



(腐食・劣化の原因になります)

(空気不足により運転停止をしたり不完全燃焼の原因になります)

小さなお子さまが触れるようなところに取付けられる場合は、トップカード、グリルガード(システム部材)をおすすめください



(やけどの原因になります)

システム部材の詳細は「商品マニュアル」をご覧ください。

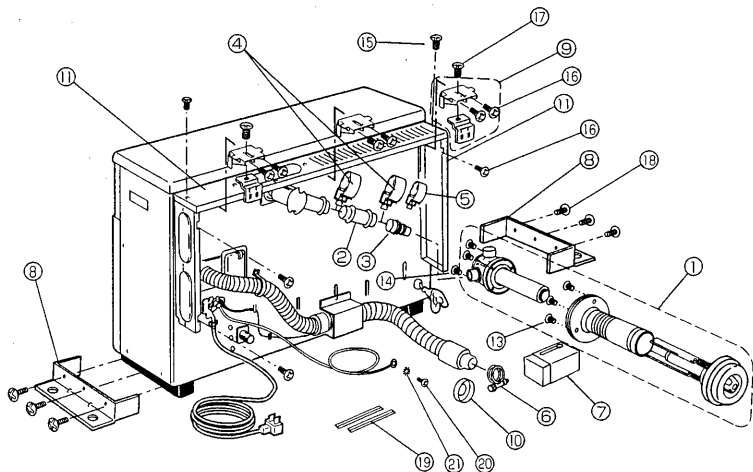
開梱

付属部品の確認

① 給排気筒トップ 	② 補助パイプ …… 1個 	③ ジョイントパイプ …… 1個 	④ C形ストッパー大 …… 2個 
⑤ C形ストッパー小 …… 1個 	⑥ 給気ホースバンド …… 1個 	⑦ 排気筒カバー …… 1個 	⑧ 床固定金具 …… 2個 
⑨ 壁固定金具 …… 3組 	⑩ Hz切換ダンパー …… 1個 	⑪ 背面カバー …… 1組 上板 側板 	⑫ 取扱説明書 設置工事説明書 …… 各1冊 
⑬ 木ネジ …… 3本 (4×20) 	⑭ さらネジ …… 3本 (4×10) 	⑮ 黒ネジ …… 2本 (タッピン4×8) 	⑯ トラスネジ …… 10本 (タッピン4×8) 
(スリーブ管用)	(チャンパー室取付用)	(背面カバー(上板)取付用)	(背面カバー(側板)取付用 4本) (壁固定金具取付用(製品側) 6本)
⑰ トラスネジ …… 2本 (5×10) 	⑱ トラスネジ …… 6本 (6×10) 	⑲ コードバンド …… 2本 	⑳ 排気筒はずれ検知 …… 1本 リード固定ネジ …… 1本 
(壁固定金具挿付用)	(床固定金具取付用)		㉑ 塵金 …… 1本 

注)VGB-935Hz-DNタイプの場合は、⑦の排気筒カバーは付属していません。⑨の壁固定金具の壁側部品は3個付属しています。⑰のトラスネジは3本付属しています。

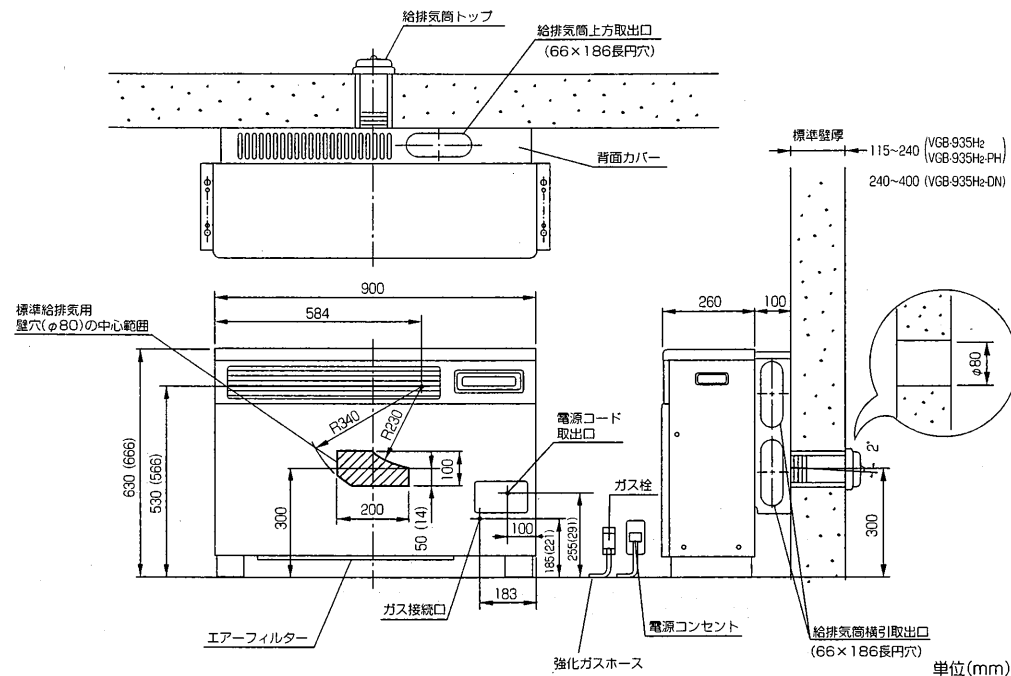
付属部品の使用箇所



壁穴工事

標準据付例

壁穴位置はなるべく標準給排気のできる場所を選びますと、見ばえもよく工事も簡単です。



()寸法は床固定金具の取付ネジ位置を調節して、製品の底面を36mm高くした場合です。(清掃をやすくすることができます)

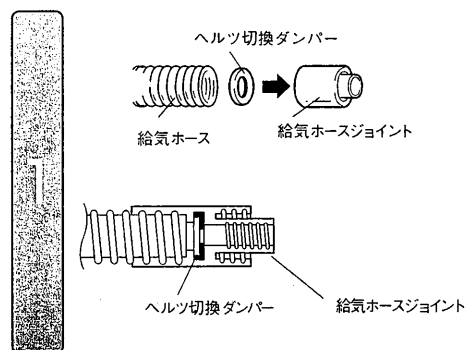
【お願い】

壁厚を確認する。
付属の給排気筒トップの適用壁厚はVGB-935Hz、VGB-935Hz-PHの場合は115~240mmです。
VGB-935Hz-DNの場合は240~400mmです。
これ以外の壁厚に取付けるにはシステム部材を準備して取付けてください。

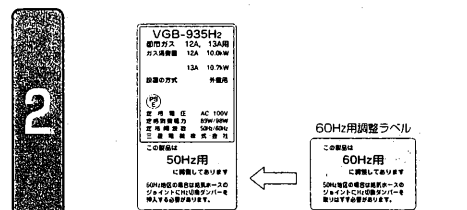
製品の据付け

60Hz地区で据付けする場合 ヘルツ切換ダンパーの取付け

製品は工場出荷時には50Hz仕様に調整されています。電源周波数が60Hz地区で据付けする場合は、ヘルツ切換ダンパーの取付けを必ず行ってください。



製品の裏面に取付けられている、ヘルツ切換ダンパーを給気ホースジョイントの内部に取付ける。



60Hz用調整ラベルを製品右側の銘板に重ねて貼付ける。

【お願い】

●60Hz地区の場合

ヘルツ切換ダンパーを必ず取付けてください。
取付けないと燃焼用空気が多くなり、点火しないことがあります。
運転中に燃焼停止するなど故障の原因となります。

※50Hz地区の場合

転居の際に必要となりますので保管しておくようお客さまに説明してください。

製品の据付け

三菱MELIOS集中管理システムによる運転を行う場合(VGB-935H2,VGB-935H2-PH)

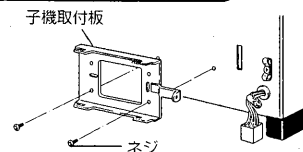
この製品は三菱MELIOS集中管理システムによる運転を行うことができます。

(三菱MELIOS集中管理システム)

親機	子機 (製品1台毎に必要です)	機能と特徴
VCL-32R	VCL-03DC	●32台までの運転・停止を親機により制御することができます。

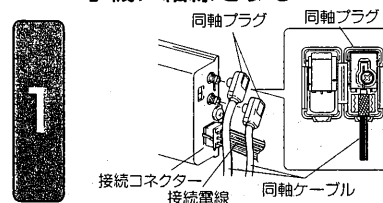
上記以外のシステムでは使用できません。

子機取付板の取付けかた



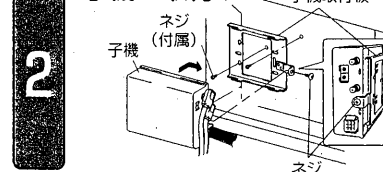
子機に付属している子機取付板を、ネジ2本(子機に付属)で製品の裏面に図のように取付けます。

子機に結線をする

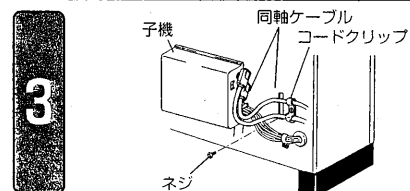


- (1) 同軸プラグに同軸ケーブルを固定します。
- (2) 同軸プラグを子機に接続します。
- (3) 接続コネクタを子機に接続します。

子機の取付け



子機を子機取付板に差し込み、ネジで固定します。



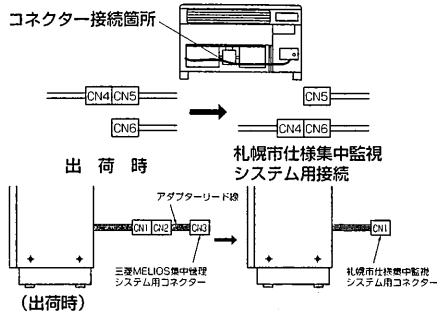
同軸ケーブルをコードクリップで固定します。

詳細については三菱MELIOS集中管理システムの技術マニュアルを参照してください。

製品の据付け

集中管理システムによる運転を行う場合(VGB-935H2-DN)

この製品は、工場出荷時は三菱MELIOS集中管理システム仕様となっています。-----10
札幌市仕様集中監視システムで使用する場合は、下記の処置を行ってください。



- (1) 本体左右のネジ(2本)を外し、前パネルを外します。
- (2) 左図のようにCN5コネクターをCN6に差し替えます。
- (3) 本体裏面に出ているアダプターリード線をCN1とCN2の接続部分で分離します。(このアダプターリード線は使用しません。)

【お願い】

●上記の処置を行わないと製品がこわれることがあります。

壁穴あけ(標準工事)

1

壁穴位置決め

次の要領で壁穴位置を決定します。
(標準据付例参照)

- ① 製品のセンター出し
- ② 給排気用壁穴のセンター出し

2

壁穴あけ

給排気用壁穴をあけます。

- φ80mmのホールコアドリルで壁面に対して直角にまっすぐ穴をあけてください。
- 付属の給排気筒トップで対応できない壁厚のときはシステム部材を準備して取付けてください。
- 壁厚に応じたシステム部材の選定

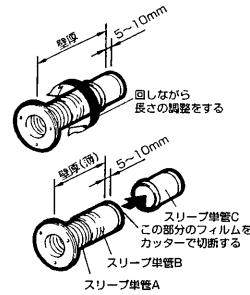
品名	取付け可能な壁厚
薄型給排気筒トップ VGZ-30WT10	140~300mm
薄型給排気筒トップ VGZ-40WT10	240~400mm
薄型給排気筒トップ VGZ-60WT10	400~600mm

【お願い】

- 穴をあける際、壁内のスジカイ・電気配線・ガス・水道の配管などに当たらないところを選んでください。
- ラス網等は十分カットし、これらの金具部分に給排気筒トップが接しないよう電氣的絶縁を行ってください。
- 電源コンセントやガス栓が製品の裏面にかくれないようにしてください。

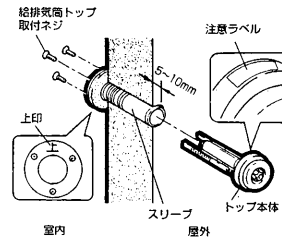
給排気筒トップの取付け

1



- (1) 給排気筒トップをトップ本体・スリーブ・チャンバー室に分離します。
- (2) スリーブは壁厚に応じて長さの調整をします。
 - スリーブを回しながら端面が壁面より5~10mm出る長さに調整します。
 - 壁厚が薄い場合はスリーブ半管Cを切り離します。

2



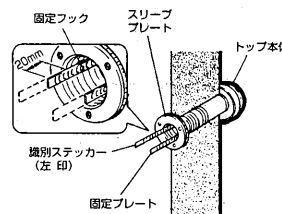
- (1) 長さ調整を行った後スリーブを室内側より壁面に「上」印を上にして付属の給排気筒トップ取付ネジ3本(タッピン4×20)で固定します。

【お願い】

スリーブを壁穴に差し込む際は表面の絶縁被覆(うす緑色)を切らないよう、ラス網等は十分にカットしてから差し込んでください。

- (2) トップ本体を注意ラベルが上側になるようにして屋外よりスリーブに差し込みます。

3

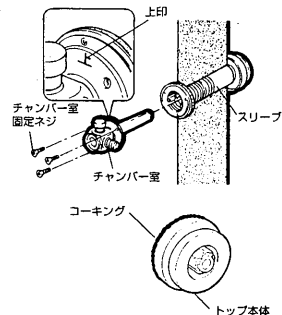


- (1) 室内より固定プレートの識別ステッカー(左印)を左側に合わせてスリーブの固定フックに片側ずつ引っ掛けます。(引っ張る力は、固定プレートの穴数で2~3穴です)

- (2) スリーブプレートより飛び出している固定プレートを20mm程残して金切バサミなどで切断します。

- (3) 切断した固定プレートを内側に曲げます。

4

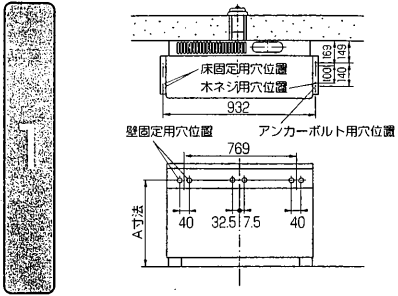


- (1) チャンバー室の「上」印を上にしてスリーブに差し込み、付属のチャンバー室固定ネジ3本(皿ネジ4×10)にて確実に固定します。

- (2) 室外側のトップ本体の全周に市販のパテまたはコーキング材を塗布し、壁の中へ雨水が浸入することを防止します。

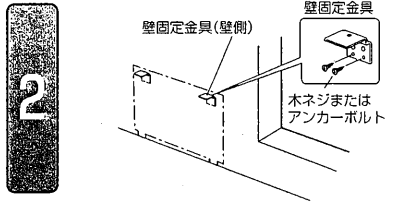
製品の据付け

固定金具の取付け



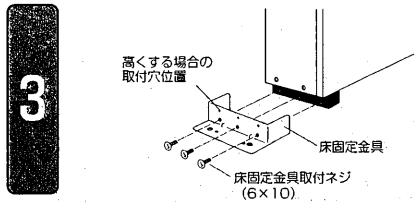
図のように壁固定金具と床固定金具の位置を決めます。壁固定金具の穴位置は、床固定金具による高さ調節(2段階)と、ネジの種類により異なりますので下表によってください。

		単位(mm)	
床固定金具による高さ調節	ネジの種類	A寸法	
そのままの場合	アンカーボルト(M10)	573.5	
	木ネジ(呼び径5.5)	589.5	
高くする場合	アンカーボルト(M10)	609.5	
	木ネジ(呼び径5.5)	625.5	

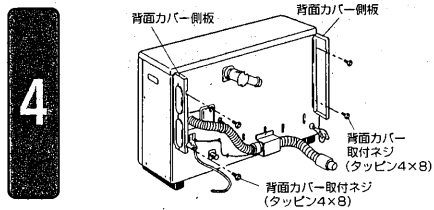


壁固定金具(壁側)2か所を先に市販のアンカーボルトまたは木ネジで壁面に取付けます。

(VGB-935H₂-DNの場合のみ中央部へも取付けて3ヶ所とします)

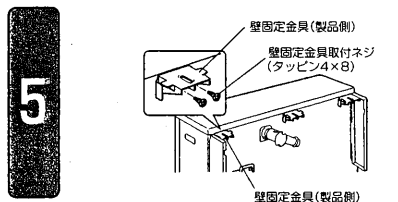


床固定金具を図のように付属の床固定金具取付ネジ(6本)で製品の左右に取付けます。



背面カバー側板を付属の背面カバー取付ネジ(4本)で製品の左右に取付けます。

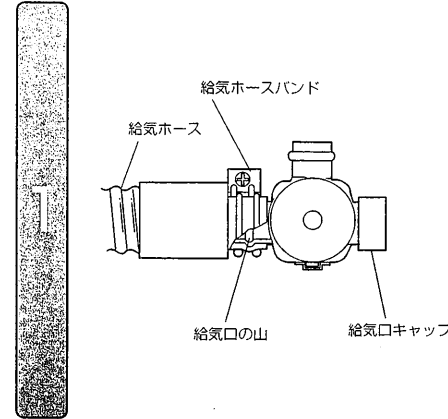
集中管理システムによる運転の場合は正面から見て左側に穴のあいた背面カバー側板を取付けますと、子機の保守・点検が容易にできます。(標準、左排気、上排気の場合)



壁固定金具(製品側)3か所を付属の壁固定金具取付ネジ(6本)で製品背面に取付けます。

標準給排気工事

電気工事、ガス接続工事は、工事の途中やりやすいときに行ってください。

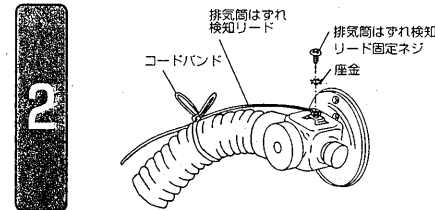


給気ホースに給気ホースバンドを通し、給排気筒トップの給気口に差し込みます。

接続部は給気口の山をまたぐようにして給気ホースバンドでしっかり締付けてください。

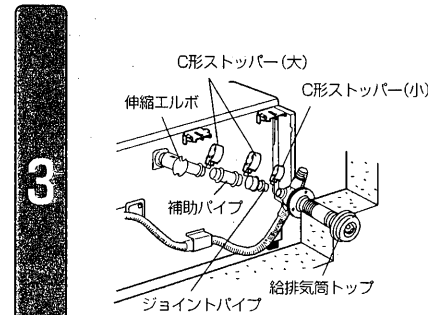
【お願い】

- 給排気筒トップは給気口が2か所あります。取付けやすい給気口に給気ホースを接続してください。使用しない給気口には給気口キャップを必ず取付けてください。
- 給気ホースが確実に給気ホースバンドで締付け固定されていることを必ず確認してください。
- 給排気筒トップの排気口と給気口を間違えないように接続されていることを確認してください。



排気筒はずれ検知リードを取付けます。

給排気筒トップのネジ端子台に排気筒はずれ検知リードを固定します。排気筒はずれ検知リードは給気ホースにそわせてコードバンドで固定します。



(1)伸縮エルボに付属の補助パイプ、ジョイントパイプを接続し、給排気筒トップの排気接続口に差し込みます。

(補助パイプを使用しなくても接続できる場合は補助パイプは不用です)

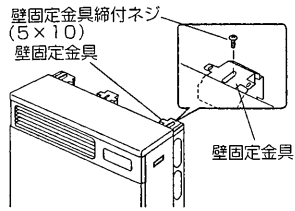
(2)接続部に付属のC形ストッパー大およびC形ストッパー小で抜け止めをしてください。

【お願い】

取付後、C形ストッパーがきいているか、排気筒を引張って確認してください。

製品の据付け

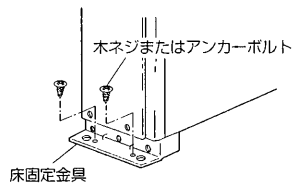
4



壁固定金具を固定します。
壁固定金具(製品側と壁面側)左右2ヶ所を、付属の壁固定金具締付ネジ2本で固定します。

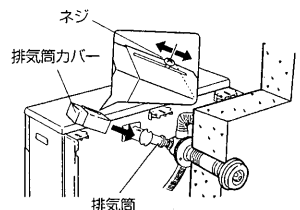
(中央部は、製品側の固定金具のみを取付け背面カバーを支えるのみとし、壁への固定は行いません)

5



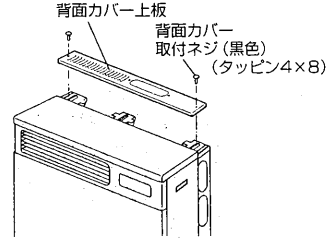
床固定金具を固定します。
床の種類により市販の木ネジ、またはアンカーボルトにより固定します。

6



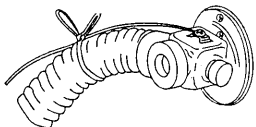
製品背面が、ビニルクロス・布などの熱に弱い壁材の場合は、付属の排気筒カバーを取付けます。
●ネジ2本をゆるめ、長さを調節し、ネジを締付けます。
●図のように排気筒カバーを排気筒に取付けます。(矢印の方向から差し込みます)
●排気筒カバーは壁に接しないよう取付けてください。

7



背面カバー上板を取付けます。
最後に、電源コード・給気ホースが排気筒に触れていないか確認のうえ、背面カバーの上板を背面カバー取付ネジ(黒色)・2本で取付けてください。

【お願い】



- 排気筒はすれ検知リードは、アース線ではありません。給気筒トップに接続されていることを確認してください(接続されていないと運転ができません)
- 給気筒トップの金属部分が製品の金属部分と接触しないように注意してください。接触すると、その部分で電氣的導通をし、排気筒はすれ検知装置が作動しなくなります。

延長給排気工事

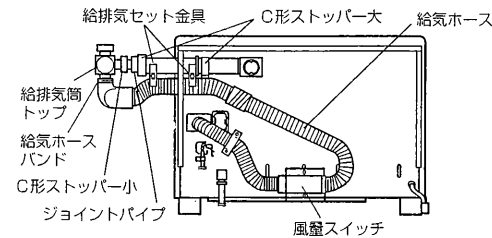
標準給排気工事ができない場合に延長給排気工事を行います。据付場所に応じてシステム部材の給排気セットが必要です。

延長工事詳細についてはシステム部材に同梱の「取付説明書」をお読みください。

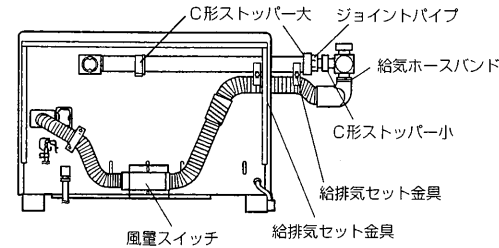
右側・左側・上側への延長給排気工事要領

＜システム部材を使用＞

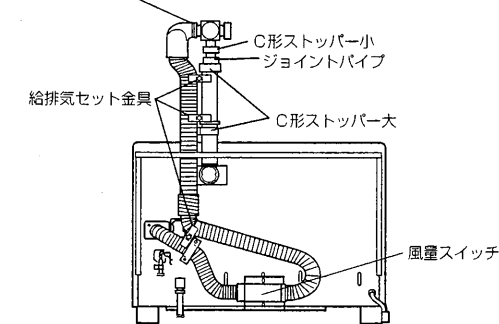
＜右排気＞



＜左排気＞



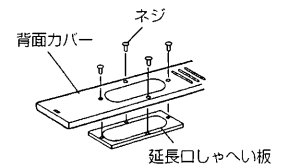
＜上排気＞



【お願い】

- 右側・左側および上側へ延長給排気工事を行う場合は、給排気セット金具を使用して給気ホースと排気筒を25mm以上離してください。
- ジョイントパイプは給排気筒トップの排気接続口に使用するものです。伸縮エルボに接続して、φ34mmの延長給排気筒を使用すると、燃焼空気量が低下して運転停止となります。
- 風量スイッチは取付方向を変えることはできません。(このままの取付姿勢でないと作動しません)

背面カバーの延長口しゃへい板の取りはずしは、ネジ4本をはずします。



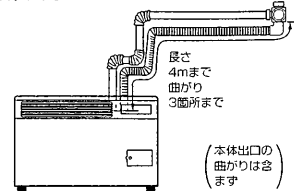
⚠注意

電源コード・給気ホース・ガス配管が排気筒に触れていないか、また壁に排気筒が接触していないか確認してください。

電気・ガスの接続工事

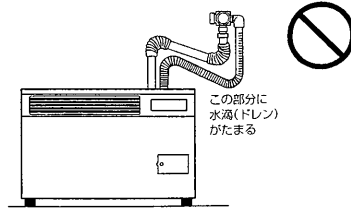
注意

給排気の延長可能な長さは4m以内で、曲がり3箇所以内とする



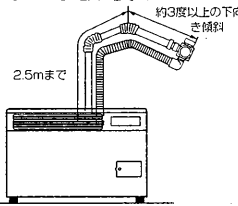
(これ以上長く延ばしたり曲がりが多くなりますと燃焼空気が不足し、運転停止や、不完全燃焼の原因となります)

排気筒の途中で水滴(ドレン)がたまるようなへこみ部をつくらない



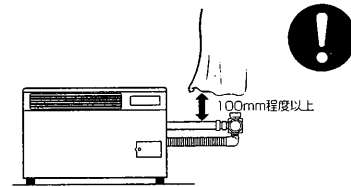
(燃焼排ガス中のドレンが排気筒内にたまり、運転停止や、不完全燃焼の原因になります)

排気筒のドレンもどりは長さは2.5m以内とする



(燃焼によって発生する水滴(ドレン)のもどりは、排気筒長さが2.5m以上になると、製品内部のドレン受け皿からあふれる場合がありますので、それ以上の部分は屋外へ排出します。そのために2.5m以上の排気筒には約3度以上の下向き傾斜をつけてください)

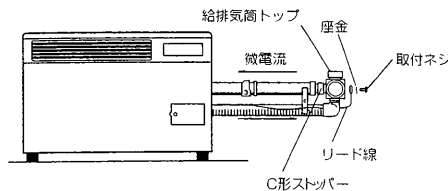
カーテンなど可燃物を排気筒に接触させない



(火災の原因になります)
排気筒の近くにカーテンなどの燃えやすいものがある場合は、100mm程度以上離すか、配管カバー(システム部材)を使用してください

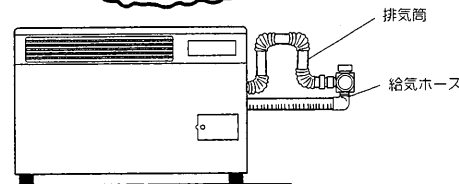
お願い

この製品は排気筒はすれ検知装置がついています。(排気筒に微電流を流して、排気筒の接続を確認しています)
C形ストッパーは排気筒の抜け止めと同時に、接続部の電氣的導通を確保する役目も合わせていますので、必ず取付けてください。



排気筒の長さより給気ホースの長さを極端に短くしない

給気ホースを極端に短くしないで!!



(異常音が発生することがあります)
給気ホースの長さを排気筒の長さと同か長めにしてください

電気接続工事

- 電源プラグは電源コンセントにしっかり差し込んでください。
- 電源コードは排気筒などの高温部に触れないよう注意してください。

ガス接続工事

ガス栓の新設

- 製品を使用する部屋に、部屋のガス栓がない場合、または、あっても位置や寸法などが適切でない場合には、新設・移設、または、交換などが必要です。ガス供給業者に相談してください。
- ガス栓や電源コンセントは製品の裏面にかくれない位置に設けてください。

ガス接続

- 強化ガスホースでガス接続を行ってください。

強化ガスホースの接続

- 都市ガスの場合はガス業者に依頼するか、ガス可とう管接続工事監督者のもとで行い、表示ラベルを貼付けてください。
- LPガスの場合は液化石油ガス設備士が行ってください。

お願い

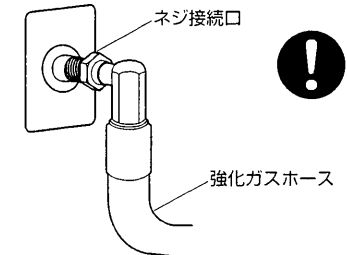
- 強化ガスホースに無理な力が加わらないよう、またふんだり、引っ掛けたりしないよう十分注意して製品とガス栓の位置を決めてください。
- 接続具・アダプターは同梱していませんので別途にお買い求めください。
- 強化ガスホースは隠ぺい部では使用できません。

金属管の接続

- 金属管による工事はガス業者に依頼し、製品を床または壁面に固定することが必要です。
- 接続完了後はガス漏れがないことを確認してください。

警告

ガス事故防止
ガス接続具は「強化ガスホース」を使用する



(ゴム管を使用すると、ガス漏れのおそれがあります)

据付工事後の点検・確認

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検・確認をしてください。
不具合がありますと火災・燃焼排ガスの漏れ及び不完全燃焼の原因となりますので必ず取付けなおしてください。

点 検	点 検 内 容	チェック結果	
製品およびその周辺	ガ ス 種	銘板は使用ガス種に適合していますか。	
	電源(電圧・周波数)	銘板は使用電源(電圧・周波数)に適合していますか。	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災防止の措置は十分ですか。	
	保守・管理上の空間	操作・点検・修理に必要な空間はありますか。	
	安 全 据 付	床面が不安定な場所に据付けてありませんか。 製品の壁・床への固定はされていますか。	
給 排 気 部 品	給気ホース接続部	給気ホースは確実に接続され、給気ホースバンドで固定してありますか。	
	排 気 筒 接 続 部	排気筒は確実に接続され、C形ストッパーで固定してありますか。	
	排気筒及び 給排気筒トップ	給排気筒トップの「上」が上になっていますか。	
		給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
		排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
		燃焼排ガスは屋外へ排気されていますか。	
		給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
		給排気筒トップの周囲に危険物(灯油、ガソリン、シンナー等)はありませんか。	
		給排気筒トップの給気口から燃焼空気が吸い込まれていますか。異物でふさがっていませんか。	
	給 排 気 筒 延 長	給排気筒トップの排気口より燃焼排ガスが出ていますか。	
		集合煙突に給排気筒トップを取付けた工事はされていませんか。	
		床下への直接排気や、天井裏への給排気工事はしてありませんか。	
		排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
		給気ホース・排気筒の長さは4m以内で曲がり数が3か所以内ですか。	
	電 気 配 線	排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部分はありますか。	
排気筒のドレンもどり長さは2.5m以下になっていますか。			
φ34mmの延長排気筒が使われていませんか。			
電 気 配 線	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。		
	電源コードは高温部に触れていませんか。 電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。		
ガ ス 接 続	ガス接続は正しく接続されていますか。長さは適切ですか。		
排気筒はずれ検知リード	排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。(14.15ページ)		
	排気筒はずれ検知リードは、排気筒に接触していませんか。		
60Hz地区の場合	60Hz用ヘルツ切替ダンパーは取付けましたか。(9ページ)		

試運転

お客さま立合いで試運転を行ってください。

運転準備

1. 鍵をあけて操作ドアを開きます。
2. 電源プラグをコンセント(单相100V)に差し込みます。
3. お部屋のガス栓を全開にします。



運 転

個別運転の場合	集中管理システム運転の場合
<ol style="list-style-type: none"> 1. 運転切換スイッチを「個別運転」にします。 2. 運転スイッチを押して「入」にします。 確認ランプが点灯し、約2～5分後に温風が吹き出します。 3. 室温調節つまみでお好みの温度に合わせます。 4. 運転スイッチを押して「切」にします。 確認ランプが消灯し、温風はしばらくして自動的に止まります。 4. 操作ドアを閉め鍵をかけます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別運転の1.から3.を行います。 (個別運転が正常に行われるか確認します) 2. 運転切換スイッチを「個別運転」から「集中管理運転」に切換えます。 <small>(VGB-935Hz-DNを外付サーモまたは札幌市仕様集中監視システムで室温制御をする場合は、室温調節つまみを「連続運転」の位置に合わせます)</small> 3. 集中管理システムの親機により正常に運転されるかを確認します。 4. 運転スイッチが「入」、運転切換スイッチが「集中管理運転」になっているか確認して操作ドアを閉め鍵をかけます。

試運転のお願い

- 故障・異常などにより試運転ができない場合は、製品内部の基板表面ランプ(赤、緑)により、故障内容を表示します。詳細は結線図(フロントカバー内側)をごらんください。
- 室温が30℃以上ある場合に試運転をするときは、「室温調節つまみ」を「連続運転」の位置にしてください。

試運転終了後の処置

- 試運転が終了しましたら、長期間使用しないときは、お部屋のガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お客さまへの説明

1. 取扱説明書によって製品の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要な事項を記入のうえ、保存のお願いをしてください。
3. この設置工事説明書は引越しなどで製品を移動する際には必要となりますので、取扱説明書と共に必ずお客さまに渡して、一緒に保管して下さるようお願いしてください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。